

平成 24 年 4 月 3 日

## 流政之氏彫刻「KANE POPPO」除幕式等について

稚内駅周辺整備事業については、平成 23 年 4 月 3 日の新駅舎一次開業後、駅舎と再開発ビルとの接続工事や駅前広場整備等を進め、平成 24 年 4 月をもって全体の整備が完了となります。

この稚内駅全面開業にあわせて、流政之氏の彫刻「KANE POPPO（カネポッポ）」を、JR北海道文化財団と共同で設置することとなりました。

つきましては、平成 24 年 4 月 29 日の稚内駅前再開発ビルグランドオープンにあわせ、以下の内容で「KANE POPPO」の除幕式を行います。

### 1 作品概要

- (1) 名 称 KANE POPPO (カネ ポッポ)
- (2) 作 者 流政之氏
- (3) 材 質 本体：コールテン鋼、台座：御影石
- (4) サ イ ズ 高さ 217cm 幅 86cm 奥行 66.5cm  
(台座高さ：120cm 含む)
- (5) 設置場所 稚内駅前再開発ビル 1 階



#### 作品設置の経緯

駅員が手に持っている鐘は、平成 5 年（1993 年）に JR 東日本がサハリン鉄道に鉄道車両を無償提供した際に返礼として受贈したものである。

この鐘は、樺太が日本領土であった時代、機関車の汽笛代わりに使われていたと伝わるものであり、「サハリンの鐘」として JR 東日本に展示されていた。

その後、彫刻家流政之氏が JR 東日本松田昌士会長（当時）を訪問の際、「サハリンの鐘」を目にして、「この鐘はサハリンを望める北の地に置き、日本とロシアのポッポヤの友情と絆を伝え残そう」と提言した。

平成 16 年（2004 年）7 月の「寝台特急カシオペアデビュー 50 周年記念イベント」の際に、JR 東日本から当社に寄贈され、本社ロビーに展示していた。

稚内駅整備にあわせて、「サハリンの鐘」の設置方法について流氏と検討を進めてきたが、流氏より「サハリンの鐘」と一体となったモニュメント制作の提案があり、JR 北海道文化財団と共同で設置することとした。

### 2 KANE POPPO 除幕式

- (1) 日 時 平成 24 年 4 月 29 日（日）9 時 30 分～10 時 00 分
- (2) 場 所 稚内駅前再開発ビル 1 階
- (3) 主催者 北海道旅客鉄道(株)・JR 北海道文化財団の共催  
※当日 9 時 00 分～稚内駅前再開発ビルオープニングセレモニーが開催され、終了後引き続き KANE POPPO 除幕式を行います。

### 3 その他

- 稚内駅周辺整備事業完成記念品配布 4 月 29 日（日）
- ・稚内駅舎デザインタオル 500 個配布